

〔 久良岐能舞台 〕
令和 6 年度業務報告及び収支決算
〔 株式会社シグマコミュニケーションズ 〕

1 施設の概要

施設名	久良岐能舞台
所在地	横浜市磯子区横浜市磯子区岡村八丁目 21－7
構造・規模	木造平屋建て
敷地・延床面積	施設延床面積 341.66 m ² 、管理区域面積 4,581 m ²
開館日	1987 年（昭和 62 年）10 月 6 日

2 指定管理者

法人名	株式会社シグマコミュニケーションズ
所在地	東京都品川区大崎 4 丁目 1 番 2 号
代表者	代表取締役 角 宣広
設立年月日	昭和 61 年（1986 年）4 月 1 日
指定期間	令和 4 年（2022 年）4 月 1 日から令和 9 年（2027 年）3 月 31 日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	平成 18 年（2006 年）9 月

3 指定管理に係る業務方針

（1）基本的な方針

能舞台の馴染みがなく、入りづらいイメージを払拭すべく「敷居は下げずに、跨ぎやすく」という方針をもとに、多くの方に施設に興味を持っていただき足を運んでいただけるよう、古典芸能以外にもクラシックコンサートや講談、野点など、さまざまな事業を実施しました。アンケートの結果、毎公演 3～6 割「初めて事業に参加した」方がおり、新しく久良岐能舞台を知り、足を運んでいただくことができました。

初めて事業に参加された方は他の事業にもご参加いただけるようになり、当施設のファンを増やすことができました。

また、“能楽等の伝統芸能の普及と振興”を図り、“市民の能楽等の活動支援を行う”ことが当施設の使命であると考え、これまでの運営経験とノウハウを活かし、次の 5 つの方針で久良岐能舞台の管理運営に取り組みました。

1. 初心者、経験者を含めた幅広い層を対象とした講座を引き続き推進し、能楽の愛好者育成、普及振興を図ります。

能楽講座（3流派）、囃子講座（大鼓・小鼓・太鼓・笛）、日本舞踊基礎教室、書道教室、茶道教室等、能楽をはじめとした日本の伝統文化を学ぶ講座を実施しました。72名の受講生が講座に参加し能楽愛好者の育成、日本の伝統文化の普及振興を図りました。

2. 子ども達が楽しめる鑑賞機会と伝統芸能を体験する機会を提供することで、次世代育成に取り組みます。

小学生を対象に狂言鑑賞教室を3日間にわたり開催し、磯子区・南区・港南区から11校909名に参加していただきました。また、4歳からの能楽講座も実施し、5名の受講生に参加していただきました。「伝統芸能は難しい」という、とっつきにくいイメージをなくし、伝統芸能の面白さを感じていただくことで、次世代を担う若者へ伝統芸能を普及しました。

3. 久良岐能舞台のある地域自治会、社会福祉協議会及び利用者団体等と協働して久良岐まつりを継続して開催し、施設がより一層市民の共有財として愛されるようにします。

自治会や利用者団体等と協働し、能舞台と庭園を活用して2日間にわたり「久良岐まつり」を実施予定でしたが、衆議院議員選挙の関係で自治会が動けなくなってしまいました。日程変更も打診しましたが、あいにく予定が合わず中止となりました。

4. 庭園を含む施設の適切な保安全管理を行うとともに、魅力的な環境、美観の維持に努めます。

自然環境に恵まれた美しい庭園を維持するため、毎日の清掃と危険な箇所がないか定期的な巡回を行いました。倒木の可能性がある・ハチの巣を発見した・扉が破損している等、お客さまに何か危険が及ぶ可能性があるものについては、至急、南部公園緑地事務所へ連絡し対応していただきました。庭園については南部公園緑地事務所と連携しながら美観維持・安全管理に努め、安心して魅力的な庭園での時間を過ごしていただける環境づくりを行いました。

5. 能楽以外の文化活動についても支援を行い、様々な市民が施設に訪れ、当施設が地域の文化的コモンズとなるよう努めます。

能楽のみならず、演劇や写真撮影、お茶会、瞑想、散策の休憩、会議等、様々な利用目的での利用者へ貸し出しを行いました。結果、全室において目標の稼働率を達成することができました。今後も能楽以外の活動についても、利用内容・方法を伺ったうえで施設の貸し出しを行い、より多くの市民から愛され、賑わう施設を目指します。

（２）令和６年度の業務の方針及び達成目標の総括

ア 全体について

能舞台の固いイメージを払拭し、「より多くの地域住民に親しまれる場所」を目指し、「敷居を下げずに跨ぎやすく」をモットーに幅広いジャンルの事業を行ってまいりました。久良岐能舞台の周辺環境と季節感を考慮した事業を実施したところ、幅広い年齢層の方に参加していただきました。アンケートでも事業全体で 98.5%の方が事業内容にご満足いただけている回答となりました。

また、SNS やブログ等にて積極的に情報発信を行い、施設の知名度向上に努めました。結果、事業全体で「初めて参加した」という方が 4 割に上り、新規参加者が増加し知名度向上に繋がりました。1 回限りではなく、今後も継続して参加していただけるよう、魅力ある事業を実施してまいります。

茶道講座受講生が日本舞踊に興味を持ち、新たに日本舞踊の講座を受講したり、講座以外でも自分たちで施設を利用し練習する等、新たなコミュニティが形成されております。今後も施設や伝統芸能を中心に様々な方たちが繋がり、文化活動を行える環境を提供してまいります。

イ 使命１ 幅広い市民に能、狂言その他の古典芸能を広める

能楽、狂言に限らず神楽や日本舞踊等の古典芸能の公演を実施し、初めて来館した人の割合が全体の約 4 割となりました。

社会貢献事業として弊社が全額負担し、「狂言鑑賞教室」を実施しました。近隣 3 区（磯子区・南区・港南区）の小学校を招待し、11 校 909 名が参加しました。次世代を担う若い世代にも古典芸能を普及しました。

ウ 使命２ 能楽等に携わる人材を育む

施設を利用いただいている団体は高齢化に伴い、活動の継続が難しい状況になってきているため、活動に興味を持っている方を利用団体へ紹介したり、施設 HP にて募集情報を掲載したり、ラックにチラシを配架する等、メンバー募集をサポートし、6 名の方を団体へ紹介しました。

自主事業で実施している講座について、今年度は茶道、書道教室を新たに開設し、合計 11 講座を実施し、77 名が参加しました。

藤の木小学校を施設に招待し、久良岐能舞台の歴史や舞台の各名称、役割の説明、装束を見せたり、楽器体験をしていただき伝統芸能に関する学習のサポートを行いました。

エ 使命３ 能楽等をはじめとする市民の活動の場となる

貸館の問い合わせについて、引き続き HP にメールフォームを設置したことで、演劇や撮影等についての利用の問い合わせが増え、前年度は 40 件程度だったところ、問い合わせ件数は 60 件程度に増加しました。「能楽以外の利用についてはどのように使用できるのか分からない。音響や備品、利用方法について知りたい」というお客さまが多いため、気軽に問合せられる環境を整えたことで、相談件数が増加しました。

貸館稼働率は目標値に対し、能舞台・和室はわずかに届かなかったものの、茶室は目標を 10% 以上上回り、達成することができました。

近隣の藤の木中学校より相談があり、篠笛演奏会の発表の場として能舞台を提供しました。若い世代に足を運んでもらい、親しみを持ってもらうことで施設への愛着が形成され则认为ておりま

す。今後も学校等にアプローチをし、施設への関心を持ってもらえるよう努めてまいります。

オ 使命4 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける

事業実施時に来場者の約8割の方にアンケートに協力いただいております。頂いたご意見は運営の改善につなげています。「後ろの席だと見づらかった」等のご意見は、一定以上の人数が参加される場合、後方の席は高さのある座席を設置するなど、いただいたご意見は運営会議にてスタッフ間で協議し、都度改善に努めてまいりました。市民の皆さまとともに、より良い施設づくりを推進してまいります。

庭園と施設を活用し、自治会と協力して実施する「久良岐まつり」について、打合せを重ね、準備を進めておりましたが、選挙の影響で中止となってしまいました。毎年楽しみにしてくださっている近隣住民の方がいらっしゃるので、来年度の実施に向けて、自治会と協力しながら準備を進めてまいります。

初のユニークベニューとしての利用があり、イベント当日まで打合せを重ね、イベント実施のサポートを行いました。久良岐能舞台の環境を活かし、庭園と能舞台を使った日本の文化を魅力的に伝えられるプログラムとなりました。今後もユニークベニューのご相談があれば、積極的にサポートを行ってまいります。

磯子区館長連絡会にて、栄区公会堂から古典芸能の公演を実施したいという相談があり、当施設でも毎年出演いただいている横浜芸者と神楽の団体を再び紹介しました。七夕の時期には近隣施設の竹飾りのサポートをする等、横浜市内施設間の交流を図っております。今後も協力し合いながら地域の活性化を図ってまいります。

カ 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

毎日の施設・庭園の清掃時に点検を実施し、不具合があれば迅速に対応しています。自ら修繕できる小破修繕のうちからこまめに修繕を行うことで、修繕費を抑制しています。

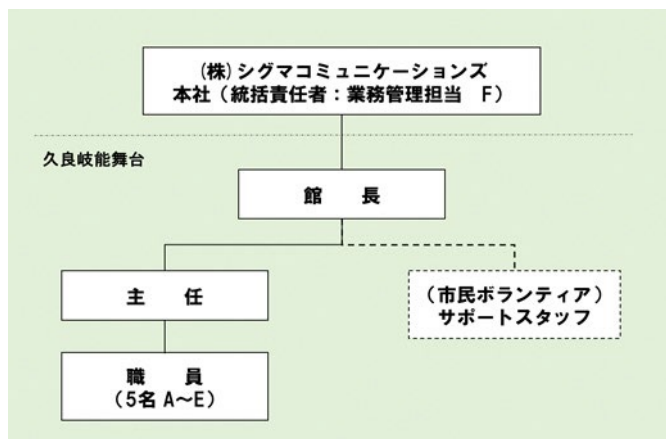
庭園については、山門の不具合を発見したり、倒木の危険がある場合は、即座に南部公園緑地事務所に連絡し、対応をお願いしています。対応に時間がかかる場合は一部立ち入り禁止にする等、安全対策を実施することで事故等は発生しませんでした。

台湾リスの被害により、庭園の紅葉の木が枯れてきてしまっている状況です。南部公園緑地事務所に依頼し、専門業者による台湾リスの捕獲を進めております。紅葉は当施設の目玉の一つでもあるため、新しく芽を育てたり、新たな魅力を発信するために紫陽花を植える等、景観維持のための対策を実施しています。

キ 使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営の継続をする

引き続き消毒液の設置や定期的な換気、アクリルパネルの準備等、感染症対策を行いました。また、座布団のクリーニングやサンダル除菌を定期的に行うことで、備品を清潔に保つよう心掛けました。

4 運営組織の構造、人員配置



人員配置については、適切な人材を配置しました。

サポートスタッフにも協力いただき、庭園清掃において市民協働の運営を実施しました。

職名・職位等	人数	必要な職能・職務内容等
館長	1名	能楽等の伝統芸能の世界と業務上で関係を築く。現場管理責任者。
主任	1名	能舞台運営に精通している。運営業務責任者。
職員 A・B・C	3名	施設管理・広報業務・事業運営担当者。
職員 D・E・F・G	4名	施設管理・事業運営担当者。
職員 H	1名	本社統括責任者。業務管理担当者。(非常勤)

5 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

(1) 使命1 幅広い市民に能、狂言その他の古典芸能を広める

ア 定量指標

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	磯子区・南区・港南区の属性別総人口比に対する年齢別の事業参加者の比率	0～14 歳： 11% 15～64 歳： 46% 65歳以 上： 44%	0～14 歳：5% 15～64 歳： 45% 65歳 以上： 50%	0～14 歳：7% 15～64 歳： 53% 65歳以 上： 40%	0～14 歳：3% 15～64 歳： 49% 65歳以 上： 49%		0～14 歳：7% 15～64 歳： 48% 65歳 以上： 45%	
2	事業参加者数に対する初めて来館した人の数の割合	4.7割	4割	4.9割	4.0割		5割	
3	自主事業の実施回数	年間13回	年間8回	年間13回	年間11回		年間8回以上	
4	学校プログラムの実施校数(3校以上)	9校	3校以上	10校	11校		3校以上	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	事業参加者、子どもたちや学校の声(アンケートやインタビュー調査)	R 4 実績	アンケート実施 100%を達成。「娘が誇りをもって能を習っている。チャンスを与えてくださり、温かく迎えてくださり感謝申し上げます。」「狂言教室について、『毎年このような機会を』と思うとともに、一部の学校だけでなく、どの学校の子どもたちにも毎年体験させてほしいと感じた。」といったお声をいただいた。
		R 5 達成指標	アンケート実施 100%
		R 5 実績	アンケート実施 100%を達成。「講座は毎回楽しく、これまで縁のなかった分野について学ぶことができ、新た

			な顔見知りも増えました。近所ながらあまり立ち寄ることがなかったのですが、稽古で通うようになり、より親しみが増しました」、「“本物”を生で拝見することができて、貴重な体験となった。」といったお声をいただいた。
		R 6 実績	アンケート実施 100%を達成。「とても貴重な経験ができて嬉しく思います。先生はじめお仲間もとても良い方々で感謝しております。」「能舞台入り口から入ってライトアップされた雰囲気も能舞台もまるで別世界で子供共々大好きな場所です。この場所でレッスンしていただける事をととても嬉しく思っています。なかなか上達しません特別な時間です」といったお声をいただいた。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	アンケート実施 100%
		R 8 実績	
2 ★	能公演、狂言等の伝統芸能に関する事業に加え、より多くの市民に施設に来館いただき、施設そして古典芸能にも興味を持ってもらうよう、コンサート等の幅広い事業を実施する	R 4 実績	伝統芸能に加え、怪談講談やクラシックコンサート等、幅広い事業を実施。結果、「初めて来館した」という方が平均して約 5 割となった。
		R 5 達成指標	幅広い事業を実施
		R 5 実績	能楽、狂言に限らず、横浜芸者と神楽による公演や講談等、幅広い事業を実施。日本舞踊の公演では、より多くの方に興味を持っていただけるよう、落語と舞踊と義太夫を組み合わせた公演を実施。結果、「初めて来館した」という方が平均して約 5 割となった。
		R 6 実績	久良岐能舞台の特性を活かした公演を実施。能楽、狂言等の公演のほか、庭園を活用した野点やお化け屋敷+怪談講談事業等、地域の方々に施設を身近に感じていただけるよう、幅広い事業を実施。結果、「初めて来館した」という方が平均して約 4 割となった。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	幅広い事業を実施し、多くの市民に来館いただく
		R 8 実績	

ウ 使命 1 を達成するために重点的に取り組んだ事項

能楽等の伝統芸能に触れたことのない方々に一度足を運んでいただき、二度三度と楽しみを求めて来館していただけるよう、様々な魅力的な伝統芸能の鑑賞等の機会を企画してまいりました。門をくぐってから広がる独特な雰囲気・空気感を維持しつつ、より多くの方に施設のファンとなっていただけるよう今後も魅力ある事業を実施してまいります。また、近隣

の学校にお声がけし、施設を見学してもらったり、地域の新聞やネット記事の取材に応じる等、施設や伝統芸能についてより多くの方に知っていただけるよう積極的にアプローチしました。

エ 使命 1 の令和 6 年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
より多くの市民に施設に来館いただき、施設そして古典芸能にも興味を持ってもらう	・能楽、狂言等の公演のほか、庭園を活用した野点やお化け屋敷+怪談講談事業等、地域の方々に施設を身近に感じていただけるよう、幅広い事業を実施。	・アンケート集計の結果「初めて来館した」という方が平均して約 4 割となり、以下のような意見をいただいた。 「能舞台という名前で近づきづらかったが、入ってみると良かった。近所なのでまた来ます。」	・ここ数年、「初めて来館した」方の割合は約半数に上り、知名度が上がってきていることを実感しているが、まだ近所でも施設を知らなかったり、知っていても来館したことがない方がいる。今後も知名度の向上、施設に足を運んでいただけるよう、様々な事業の実施と広報活動に取り組む。
次世代育成	・近隣 3 区（磯子区・南区・港南区）の小学校を対象に「小学生向け狂言鑑賞教室」を実施。 ・近隣小学校に声がけし、施設見学を実施。	・11 校 909 名が参加し、次世代育成に貢献した。 ・藤の木小学校を招待し、施設や装束の紹介、楽器体験等を実施することで、施設をより身近に感じていただく機会を提供。	・比較的内容が分かりやすい狂言を伝統芸能の入り口として鑑賞していただいているが、能楽についても鑑賞の機会を提供できるように検討する。

(2) 使命2 能楽等に携わる人材を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	能楽等の技術を学ぶ講座や愛好者の交流ができる事業数	9 講座	7 講座	9 講座	11 講座		7 講座以上	
2	事業参加者数に対する継続的な事業参加者の割合 (アンケート集計)	7.6 割	7 割	8.0 割	8.0 割		8 割	
3	アンケート回収率	100%	100%	100%	100%		100%	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	近隣の能楽等を中心とした文化団体の状況把握	R 4 実績	施設利用者や磯子区の館長連絡会にてヒアリングを実施し、文化団体の状況把握に努めた。能楽等伝統芸能を嗜む団体は高齢化によりメンバーが減少し、新しいメンバーもなかなか集まらない厳しい状況。利用者団体存続のため、メンバー募集を支援した。
		R 5 達成指標	ヒアリングにて状況把握に努める。課題があれば解決のサポートを行う。
		R 5 実績	施設利用者や磯子区の館長連絡会にてヒアリングを実施し、状況把握に努めた。横浜能楽堂休館中、利用者が流れてくることを期待していたが、横浜能楽堂利用団体は、あまり当施設に流れてこず、アクセスの良い都内や川崎の施設を利用している。当施設は「アクセスの課題、小さめの舞台ということもあり、利用するにあたり少しハードルを感じる」という話もいただいた。アクセス面はバスの時刻表の最新版を備え、タクシーの配車番号を掲示する等の対応を行い、舞台については練習利用の促進や昼の見所・美しい庭園等、リラックスできる環境をアピールした。
		R 6 実績	利用者や近隣施設へのヒアリングにて状況把握に努めた。利用団体から「人数が減少しており、このままでは

			継続が困難になってしまう。どうしたら良いか」というお話をいただいた。HP に活動情報を掲載したり、チラシをラックに配架し、メンバー募集のサポートを行った。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	ヒアリングにて状況把握に努める。課題があれば解決のサポートを行う。
		R 8 実績	
2 ★	利用団体と活動場所を探している方の懸け橋となるよう、利用団体のメンバー募集等の支援を行う	R 4 実績	実施活動に興味を持っている方を利用者団体へ紹介したり、HP にて募集情報を掲載し、メンバー募集をサポートした。結果、5 名の方を各団体へ紹介した。
		R 5 達成指標	HP へ募集情報を掲載する等、メンバー募集の支援を実施。
		R 5 実績	実施活動に興味を持っている方を利用者団体へ紹介したり、HP にて募集情報を掲載し、メンバー募集をサポートした。結果、4 名の方を各団体へ紹介した。
		R 6 実績	活動に興味を持っている方を利用者団体へ紹介したり、HP にて募集情報を掲載し、メンバー募集をサポートした。結果、6 名の方を各団体へ紹介した。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	HP へ募集情報を掲載する等、メンバー募集の支援を実施。
		R 8 実績	

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組んだ事項

久良岐能舞台においては伝統芸能の愛好者や鑑賞者の育成こそが最も重要であると考えています。古来より親しまれてきた芸能を継承していくために、日本舞踊、能楽等各種講座に加え、今年度より書道、茶道の講座も開始しました。さらに近隣小学校向けの伝統芸能に関する講座を実施し、伝統芸能愛好者の育成に力を入れました。また、上質で発信力のある事業を低廉な参加料金で開催し、気軽に事業に参加いただける環境を整えました。

エ 使命2の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
能楽等に携わる人材を育む	能楽講座（3 流派）、囃子講座（大鼓・小鼓・太鼓・笛）、日本舞踊基礎教室、書道教室、茶道教室等、能楽をはじめとした日本の伝統文化を学ぶ講座を実施。	・例年、受講生の獲得が課題となっていたが、広報に力を入れたり、まずはお試しとして、全8回で完結するコースを作り、新規受講生の増加を図った。結果、前年度より受講生が5名増加した。 ・今年度よりスタートした書道教室、茶道教室は20名の受講生を獲得。茶道教室は8回コースを基本とし、希望があればその後もコースを受講していた。	講座受講生はまだ目標の人数には届かず。新たな受講生の獲得も難しい状況。引き続き、お試しコースの開催や広報に力を入れて受講生獲得に向けて取り組んでいく。
事業参加者数に対する継続的な事業参加者の割合	先生と相談し、時間割を決めて個別指導を強化する等、内容を見直した。	8割の方に継続的に事業に参加していただけた。	個々の事情もあるため、参加率は左右されるが、今後も継続的に参加していただけるよう、アンケートやヒアリング等で受講生の要望を伺い、より良い体験に向けて検討を続けていく。

(3) 使命3 能楽等をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	総来場者数	11,160 人	15,000 人	14,180 人	13,946 人		20,000 人	
2	貸館利用率	能舞台 : 55.3% 和室 : 36.5% 茶室 : 20.2%	能舞台 : 45% 和室 : 29% 茶室 : 9%	能舞台 : 49% 和室 : 30% 茶室 : 21%	能舞台 : 47% 和室 : 33% 茶室 : 27%		能舞台 : 55% 和室 : 38% 茶室 : 15%	
3	貸館利用の相談・広報支援件数	81件	10件	43件	45件		15件	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	利用者団体にヒアリングし、状況把握に努めた。いまだコロナの影響もあり、外出をためらうメンバーもいるとのことで、なかなか参加人数を集めるのが難しいという話があった。施設では消毒液の設置、アクリルパネルの貸し出し、換気扇を設置し、感染症対策を引き続き行い、安心してご利用できる環境の提供に努めた。
		R 5 達成指標	ヒアリングにて状況把握に努め、課題解決のサポートを行う
		R 5 実績	利用者団体にヒアリングを行い、状況把握に努めた。利用団体は高齢化が進んでおり、メンバーが減少している状況。団体存続のためにもHPへ活動情報を掲載したり、チラシをラックに配架する等、メンバー募集をサポートした。
		R 6 実績	利用団体にヒアリングし、状況把握に努めた。部員が減少傾向にあり、将来の活動継続に不安があるというお声をいただき、団体存続のため、チラシの配架等を行いメンバー募集の支援を行った。

2 ★		R 7 実績	
		R 8 達成指標	ヒアリングにて状況把握に努め、課題があれば解決のサポートを行う
		R 8 実績	
	幅広い利用目的でご利用いただけるということをアピールし、多くの市民にご利用いただける環境を提供	R 4 実績	チラシやブログにて利用例を掲載したり、ウェディング提携先のパンフレットに施設を掲載いただいたり、撮影利用の会社へ施設情報を提供し、フォトスポットとしてHPに掲載してもらう等の活動を行った。結果、撮影利用が増加し、稼働率目標を大幅に達成した。
		R 5 達成指標	多くの市民にご利用いただけるよう、広報活動を実施
		R 5 実績	ブログやSNSで撮影利用やウェディング利用等を紹介し、多目的に使えることをアピールした。結果、ウェディングでの利用や撮影利用、演劇、会議等様々な目的で施設をご利用いただいた。稼働率目標もおおむね達成することができた。
		R 6 実績	HPやブログ、各種SNS(X、Instagram、LINE)等で情報を発信した。結果、様々な利用目的で施設をご利用いただき、稼働目標を達成する事ができた。ネットでの発信や写真撮影会社のパンフレット掲載に協力することにより、撮影利用が年々増加している。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	多くの市民にご利用いただけるよう、広報活動を実施
		R 8 実績	

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組んだ事項

能楽等のみならず、撮影や演劇、会議等様々な利用目的の方に施設を貸し出しました。門戸を広げることで、市民の様々な文化芸術活動を支援しました。また、庭園を散策している方へお声がけし施設見学をしていただいたり、活動の場所を探している方に積極的にお声がけし、市民の文化芸術活動の拠点となるよう努めました。

エ 使命3の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
貸館利用率	メールの問い合わせフォームを引き続き設置	・簡易的に問い合わせができるよう、メールフォームを引き続きHPに設置。その結果、より気軽に問い合わせをいただくことが可能となり、問合せ件数も増加した。前年度比約20件増。 貸館利用率も目標を達成する事ができた。	撮影利用が増加傾向にあり、貸館利用率は増加してきているが、各室、夜間区分の利用率が低い状況。利用者にヒアリングしたところ、交通アクセスの面から夜間区分の利用は難しい模様。稼働率を上げる方法を今後模索していく。
能楽等をはじめとする市民の活動の場となる	近隣の藤の木中学校の篠笛演奏会の発表の場として、能舞台を提供	若い世代に足を運んでもらい、親しみを持ってもらうことで、施設への愛着を形成し、伝統芸能に関する施設等への心理的ハードルを下げる事ができた。	来館されるのはご高齢の方が多いため、若い世代にも来館していただき、日本の伝統芸能・文化の素晴らしさを実感してもらいたい。今後も近隣の学校等にアプローチをしていく。

(4) 使命4 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体等と共催・連携して実施する事業数	1 件	1 件以上	1 件	2 件		2 件以上	
2	事業参加者数に対する磯子区・南区・港南区在住者の参加者数の割合 (アンケート集計)	49.3%	30%	47.8%	45.7%		40%	
3	アンケート回収率	79.5%	55%	82.2%	78.1%		60%	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	地域の施設・団体等との連携状況のレポート	R 4 実績	南公会堂との共催事業「横浜芸者」公演を実施。他施設と連携することにより、多くの市民に当施設を知ってもらうことができ、知名度向上につながった。
		R 5 達成指標	近隣施設や団体等との連携を図る
		R 5 実績	磯子区施設でのゴールデンウィーク企画に参加したり、自治会と共催している「久良岐まつり」を実施。庭園では自治会による屋台が出展され、能舞台は一般開放し、文化団体の発表の場を提供。629 名の近隣住民が参加し、地域の活性化につながった。
		R 6 実績	館長会議や近隣施設との日常的な情報交換を実施。栄公会堂の自主事業について、出演者を紹介し、事業支援を行った。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	近隣施設や団体等との連携を図る
2	連携したことによる地域の声 (イン	R 8 実績	
		R 4 実績	南公会堂との共催事業「横浜芸者」にてアンケート実施。「横浜の文化を受け継いでいけるように、今後も発

	タビュー調査)		信じていってほしい」「久良岐能舞台の存在を初めて知った。今度は施設に行ってみたい」「伝統芸能すばらしいと思いました！」というお声をいただいた。満足度 97%を達成。
		R 5 達成指標	ヒアリング実施。満足度 90%以上
		R 5 実績	久良岐まつりにお越しいただいた来場者、能舞台で発表していただいた文化団体にヒアリング実施。「コロナでしばらくお祭りが中止になっていたので、久しぶりに開催してくれて嬉しい。またこの季節が来たなと楽しみになる」「普段、なかなか大勢の前で発表する機会がなかったので、たくさんの方にパフォーマンスを見ていただく機会をくれて感謝しております」というお声をいただいた。ヒアリングした方（約 50 名程度）全員、ご満足である声をいただいた。満足度 100%を達成。
		R 6 実績	コンベンションプログラムのサポートについて、主催者から「繋がりがいいから出演者を紹介してもらえてありがたい」というお言葉をいただいた。事業参加者も「すごく良かった。芸者パフォーマンスをこんなに近く、舞台で見れて良かった」というお声をいただいた。満足度 100%を達成。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	ヒアリング実施。満足度 90%以上
		R 8 実績	
3 ★	地域の様々な団体や施設と連携し、事業の共催や、地域コミュニティの催しに積極的に参加することで、地域の文化芸術振興を推進	R 4 実績	南公会堂との共催事業「横浜芸者」を実施。昔の横浜の歴史を伝え、横浜から生まれた唄等をプログラムに取り入れることで、横浜文化を発信した。また、磯子区内施設と連携し、区内施設を巡るスタンプラリー企画を実施。磯子区近隣施設のにぎわいづくりに貢献した。連携事業を 2 件実施。
		R 5 達成指標	連携事業を 1 件以上実施
		R 5 実績	磯子区内施設との連携で区内施設を巡るスタンプラリー企画を実施。また、自治会と連携し「久良岐まつり」を実施。能舞台を開放し、市民の発表の場とすることで、市民の文化活動を促進した。連携事業数を 3 件実施。
		R 6 実績	磯子区内施設との連携で区内施設を巡るスタンプラリー企画を実施。横浜 DMC 主催の久良岐能舞台の環境を活かしたイベントの開催をサポート。ユニークベニユーとしての初の利用は大変好評をいただいた。

			また、賀詞交換会に参加し、地域の方々との交流を行ったり、休館中の横浜能楽堂と情報交換、交流を行った。連携事業を2件実施。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	連機事業を1件以上実施
		R 8 実績	

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組んだ事項

近隣の施設と連携し、スタンプラリー企画に参加する等、公共施設として地域活性化のための活動を推進しました。自治会や利用者団体等と協働で行っている「久良岐まつり」実施に向けて調整を進めました。残念ながら選挙の関係で中止となりましたが、地域のにぎわいづくりに向けて自治会と協力関係を築きました。また、初のユニークベニューとしての利用となる横浜DMC主催のイベントは、久良岐能舞台の環境を活かし、庭園と能舞台を使い、日本の文化を魅力的に伝えられるプログラムとなりました。今後も、ユニークベニューのご相談があれば、積極的にサポートを行ってまいります。

エ 使命4の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
地域団体との連携	・ユニークベニューへの協力 ・磯子区施設と連携したスタンプラリーイベントへの参加 ・栄公会堂事業への出演者紹介	・施設として初のユニークベニュー利用について、打合せを重ね、当日もサポートを行った。結果、主催者・参加者双方から大変ご満足いただけた。 ・近隣施設との事業連携や出演者を紹介することで、地域活性化・文化芸術の普及に貢献した。	施設でイベントを開催される主催者と打合せを行うと、毎回、交通アクセスの不便さが課題になるが、貸し切りバスやタクシー利用等、様々な提案を行っている。今後も企画段階から一緒に考え、催事成功に向けてサポートを行っていく。
アンケート回収率	・自主事業実施の際にはアンケートを配布し、お客様のご要望・ご意見を収集した。	・公演終了後に職員がアンケート協力を呼びかけたところ、年間78.1%の回収率となり、多くのお客様にアンケートにご協力いただけた。	・外で行うイベント等はアンケートの配布を実施していないため、バインダーを利用する等、お客様のご負担にならない範囲でアンケートにご協力いただき、今後の運営に活かしていく。

(5) 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0 件	0 件	0 件	0 件		0 件	
2	法定点検等の実施率	100%	100%	100%	100%		100%	
3	修繕費予算の執行率	28%	90%以上	31%	20%		90%以上	
4	自主的な収入を得るための取組と目標額	2,078,607 円	25 万円以上	273,790 円	376,136 円		25 万円以上	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	能舞台、能装束、庭園等の適切な保存・管理	R 4 実績	施設は毎日清掃時に点検し、不具合等を見つけた場合は早急に対応した。(障子の張替え、見所用監視カメラ不具合修理等)庭園についても毎日清掃し美観を保ち、倒木の恐れがある木やハチの巣を見つけた場合は迅速に南部公園緑地事務所に連絡し、事故防止に努めた。能装束は普段から除湿剤を使用してカビの発生を防ぐほか、年一回、虫干しも兼ねた装束展示を行ったり、能楽公演にて出演者に貸し出すことで、定期的に状態を確認し、適切な状態で保管した。
		R 5 達成指標	適切な管理を実施。管理不備による事故数 0
		R 5 実績	施設内外を毎日点検し、不具合等を見つけた場合は早急に対応した。(トイレの水漏れ修理、換気扇交換等実施。)庭園は毎日清掃し美観を保ち、倒木の恐れがある木や害虫等の被害を見つけた場合は迅速に南部公園緑地事務所に連絡し、事故防止に努めた。能装束は普段から除湿剤を使用してカビの発生を防ぐほか、年一回、虫干しも兼ねた装束展示を行ったり、能楽公演にて出演者に貸し出すことで、定期的に状態を確認し、適切な状態で保管した。
		R 6 実績	毎日清掃を行い、施設内外の美観維持に努めるととも

			に、施設・備品を点検し、不具合等を見つけた場合は早急に対応した。ツタの切除や折れかけた小さ目の枝の除去等、職員が対応できるものは対応し、専門業者の対応が必要な倒木の恐れがある木の伐採等については南部公園緑地事務所に連絡し、事故防止に努めた。また、枯れ木の原因ともなるタイワンリスの駆除にも協力した。 能装束は普段から除湿剤を使用してカビの発生を防ぐほか、年一回、虫干しも兼ねた装束展示を行ったり、能楽公演にて出演者に貸し出すことで、定期的に状態を確認し、適切な状態で保管した。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	適切な管理を実施。管理不備による事故数 0
		R 8 実績	
2	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング（アンケートやインタビュー調査）	R 4 実績	アンケート実施。満足度 100%を達成。 「最寄り駅が遠いのがたまにキズだが、よく整備されており、邦楽器を存分に弾けること、他のジャンルの方々の練習にも触れられること等、日本文化をよく残していて来館者やイベント参加者にとって（日本文化に触れられる）素晴らしい場所だと思います。」といったお声をいただいた。
		R 5 達成指標	アンケート実施。満足度 90%以上
		R 5 実績	アンケート実施。満足度 100%を達成。 「大変使いやすく、有意義なお稽古をする事ができました。本当にありがとうございました。また次回もよろしくお願いいたします。」、「環境も良く、職員さんもアットホームな方々ですごく良いです。駅から遠いのが難ですが、遠くの人にも知ってもらいたいと思います。」といったお声をいただいた。
		R 6 実績	2～3 月にアンケート実施。満足度 79%。 「能舞台の利用ができるところはなかなかないので、横浜に久良岐能舞台があることは大変うれしいことです。」「ネット申し込みになると良いかと望みます。」「こんなに親身になって対応してくださる所は他にございません」といったお声をいただいた。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	アンケート実施。満足度 90%以上
		R 8 実績	
3	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	毎月実施し、支出の優先度の設定や事業内容の見直しを行った。複合機はリースを止め、本体を購入することで

			今後のランニングコスト削減を図った。また、事業費のバランス改善を図るため、「横浜市地域の文化芸術活性化支援事業」の助成金を申請する等、改善を図った。
		R 5 達成指標	毎月管理運営費推移の要因分析を行い、収支バランスの改善を図る。
		R 5 実績	毎月実施し、支出の優先度の設定や事業内容の見直しを行った。 事業の収支バランスを図るため、講師と相談の上、一部の講座回数を減らしたり、チラシの配架や SNS での発信により受講生の増加を図った。結果、昨年度に比べ 2 名受講生が増加した。消耗品についても、在庫状況を確認したうえで、適切なタイミングで購入するよう心掛け、「無駄を省くが無理をしない」という方針のもと、経費削減を図った。
		R 6 実績	毎月実施し、支出の優先度の設定や事業内容の見直しを行った。修繕が必要なものは、まずは自分たちで直せるものは直し、専門的な技術が必要なものについては専門会社に依頼することで修繕費削減に努めた。
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	毎月管理運営費推移の要因分析を行い、収支バランスの改善を図る。
		R 8 実績	
4 ★	事故が起こらないように予防措置を行い、小破修繕は自ら行い、経費削減・施設や設備の長寿命化を図る	R 4 実績	毎日施設内外の見回りを行い、不具合の早期発見に努めた。テーブル脚の補強やテーブル金具の修繕等、発見した不具合は職員による小破修繕を実施し、経費削減と施設・設備の長寿命化を図った。
		R 5 達成指標	予防措置の視点で運営を行い、小破修繕は自ら行い、経費削減と施設・設備の長寿命化を図る。
		R 5 実績	毎日施設内外の見回りを行い、倒木の恐れがある個所は速やかに公園管理者に連絡する等、事故が発生する前に対策を行った。庭園内スピーカーの配線補修等、自ら修繕できる不具合は自ら修繕し、経費削減と施設・設備の長寿命化を図った。
		R 6 実績	毎日施設内外の見回りを行い、不具合の早期発見に努めた。水琴窟用の竹筒の修繕や障子補修、トイレ水詰まりの修繕等、発見した不具合は職員による小破修繕を実施し、経費削減と施設・設備の長寿命化を図った。
		R 7 実績	

		R 8 達成指標	予防措置の視点で運営を行い、小破修繕は自ら行い、経費削減と施設・設備の長寿命化を図る。
		R 8 実績	

ウ 使命 5 を達成するために重点的に取り組んだ事項

設立から 39 年が経過するため、修繕等は度々発生しますが、日常点検や定期点検により、故障や破損を最小限にとどめることにより安心・安全にご利用いただくとともに、魅力的な美しい環境を維持しました。また、利用者へのアンケートやヒアリング等を通じてご意見を集め、施設運営に反映させることで、より良い施設となるよう改善を重ねてまいりました。

エ 使命 5 の令和 6 年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
経費削減・施設の長寿命化	職員による日常点検にて不具合を早期に発見し、小破修繕は自ら行った。	小破修繕は職員で行い、専門的な技術が必要なものは専門業者に依頼することで、修繕費の削減に大きく貢献した。	歴史ある施設のため、様々な不具合が発生している。日常点検を行うことで早期発見に努め、施設の長寿命化を図る。
自主的な収入を得るための取組	指定管理料以外の収入の増加を図り、伝統芸能に関する書籍等の物品販売やコピーサービス、撮影協力金による収入を得た。	約 37 万円の収入を得ることが出来、収支バランスの改善に努めた。撮影協力金・物品販売・コピーサービス等による収入前年度費約 10 万円増。	伝統芸能に関する物品販売については、より魅力的なラインナップとなるよう検討を重ねていく。

6 その他の令和 6 年度における成果と課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
市民ボランティアの設置・活用	ボランティアスタッフ、磯子区グリーンサポーターによる庭園清掃	・市民ボランティア登録者 11 名 ・庭園清掃においてボランティアスタッフ、磯子区グリーンサポーターとの協働運営を推進	あまり活動をされていない方もいらっしゃるため、施設でのボランティア活動が一つのコミュニティとなり、活動が楽しみになるよう活動内容を検討していく。
アクセス数	HP、ブログ等で施設や事業の紹介を掲載	写真を多めに掲載し、月に 1 回以上は更新するようにした。 ・ブログアクセス数 15,411 件。前年度比 2,530 件増。 ・HP アクセス数 45,713 件。前年度比 179 件増。	更新頻度が落ちると、アクセス数も低くなる。今後もこまめに更新し、活動をアピールしていく。

7 令和 6 年度の決算

令和 6 年度の決算報告につきましては、別紙にてご報告いたします。